

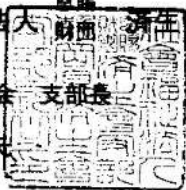
地域医療支援病院業務報告書

平成29年 9月 29日

静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 〒422-8527
静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号

開設者 名称 社会福祉法人 静岡済生会支部
静岡県済生会支部長

代表者の氏名 石塚 隆夫  印

(代表者の氏名を自署する場合は、押印は不要であること。)

平成28年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績

別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号
氏名	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

静岡済生会総合病院

3 所在の場所

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号	電話 (054) 285 - 6171
---------------------------------	---------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	521床	521床

5 施設の構造設備

施設名	静岡済生会総合病院		
集中治療室	<p>(主な設備) 緊急蘇生セット2セット、除細動器3台、ペースメーカー2台、心電計2台、ポ-ダブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置20台、経皮的酸素分圧監視装置20台、微量輸液装置35台、超音波診断装置</p> <p>病床数 29 床</p>		
化学検査室	<p>(主な設備) 生化学・免疫自動分析装置2台、全自動血糖測定装置、全自動HbA1c測定装置2台、免疫発光測定装置2台 免疫比濁分析装置</p>		
細菌検査室	<p>(主な設備) 全自動同定感受性検査システム 全自動血液培養 (BD BACTECFX)</p>		
病理検査室	<p>(主な設備) 密閉式自動包埋装置、凍結マイクローム、自動染色装置2台 全自動免疫染色システム、パラフィン包埋ブロック作製装置、臓器写真撮影装置、滑走式マイクローム2台 迅速脱灰脱脂固定装置</p>		
病理解剖室	<p>(主な設備) 解剖台、ストライカー、解剖用吸引装置、臓器写真撮影装置</p>		
研究室	<p>(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机つき椅子</p>		
講義室	室数	8 室	収容定員 280人
図書室	室数	1 室	蔵書数 12,406 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	<p>(主な設備) 輸液ポンプ、シリンジポンプ、成人用・小児用ベッドサイドモニター、除細動器、分娩監視モニター、電動吸引器、閉鎖式・開放式保育器、酸素ポンプ、圧縮空気コンプレッサー、圧力調整器</p> <p>保有台数 1 台</p>		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積 498.8㎡	

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	68.2%	算定 期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	88.0%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		9,161人
	B：初診患者の数		13,425人
	C：逆紹介患者の数		11,815人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

※資料① 28年度地域医療支援病院紹介率・逆紹介率内訳 を別添致します。

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
旧紹介率	69.6%	66.3%	65.5%	62.6%	61.1%	64.7%	67.9%	65.6%	67.4%	63.9%	64.2%	66.1%	65.3%
新紹介率	71.6%	70.0%	67.8%	64.7%	62.0%	68.8%	71.9%	67.6%	71.5%	66.9%	68.2%	69.4%	68.2%
旧逆紹介率	82.9%	70.8%	72.8%	69.1%	62.8%	68.7%	69.4%	70.1%	68.4%	71.2%	78.7%	80.6%	71.9%
新逆紹介率	101.4%	86.9%	85.6%	83.7%	73.6%	84.5%	85.3%	84.9%	88.6%	93.3%	94.6%	99.2%	88.0%
A: 文書による紹介患者数	684	715	864	735	799	793	855	775	743	701	719	778	9,161
B: 緊急的に入院し、治療を必要とした救急患者数(初診かつ紹介なし)	128	115	117	126	124	125	137	137	164	176	94	134	1,577
C: 初診患者数	1,565	1,625	1,894	1,827	1,989	1,927	1,924	1,847	2,042	2,028	1,693	1,821	22,182
D: 休日・夜間に受診した救急患者	546	519	518	595	623	657	646	596	914	862	546	586	7,608
E: 休日・夜間に入院し、治療を必要とした救急患者	126	130	99	109	126	121	150	108	187	170	98	119	1,543
F: 他の病院又は診療所に逆紹介した患者数	968	887	1,090	951	949	974	1,014	974	921	978	997	1,112	11,815
G: 時間外等紹介数	22	16	22	35	19	27	33	31	31	37	22	25	320
H: 時間内に救急車で受診した患者	64	85	102	96	77	118	89	104	89	118	93	114	1,149

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

※資料② 病診連携システム院内運用規則、病診連携システム協定書 を別添致します。

1 共同利用の実績

1) 病床の共同利用を行った医療機関の延べ数		31
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	31
2) 医療機器		
	・MRIの共同利用を行った医療機関の延べ数	34
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	34
	・CTの共同利用を行った医療機関の延べ数	27
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	27
	・骨密度測定の共同利用を行った医療機関の延べ数	5
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	5
	・超音波検査の共同利用を行った医療機関の延べ数	6
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	6
	・骨シンチの共同利用を行った医療機関の延べ数	1
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1
3) 研修施設の共同利用を行った医療機関の延べ数		33
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	30
合計	医療機関の延べ数	107
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	104
共同利用に係る病床利用率		14.04%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

図書室とその設備
講堂とその設備
会議室(6会議室)とその設備
各検査室(MRI・CT・動脈硬化検査など)とその検査機器
手術室とその設備
研究室とその設備

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：*****
職 種：事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

登録医療機関名簿に記載された医療機関数			
医科	140施設	そのうち開設者と直接関係の無い医療機関	140施設
歯科	1施設	そのうち開設者と直接関係の無い医療機関	1施設
※資料③ 静岡済生会総合病院 登録医療機関名簿 28年度 を別添致します。			

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	8床
--------------	----

静岡済生会総合病院病診連携システム院内運用規則

平成13年6月改訂版

静岡済生会総合病院病診連携システム院内運用規則

1. システム概要

平成6年4月1日から施行されたシステムは、年2回の運営協議会で、必要な変更を行うことが了解されている。本運用規則は、平成13年4月改定の協定書に基づくものである。

相互に、あるいは共同して患者の診療に当たることを主旨に、外来診療、生体検査、その他検査、入院診療等の依頼を中心に、静岡市医師会との間で締結された協定に基づくシステムであるが、平成13年6月よりは共同診療が新たに加わった。

2. 病診連携委員会

病診連携システムの院内運用を円滑にするため、病診連携委員会を設け、原則として月1回の委員会を開催する。

3. 登録医および登録医バッジ

静岡市医師会に提案したシステム概要に基づき、市医師会に登録医としての申込を完了した市医師会員が病診連携システム登録医となる。市医師会から送付された登録医名簿により済生会病院で、登録医バッジを作製し、登録医に送付する。また登録医バッジ記載内容は病診連携システム・データベースに画像入力する。登録医番号は登録順である。

登録医が病院訪問時携帯を忘れたときのために、共通用のバッジを数個作製し、ガードマン室に用意する。

4. 病診連携医用駐車場

病院東側「あけぼの会第一駐車場」を利用する。運用上の問題で、直営駐車場および「あけぼの会第二駐車場」は利用しない。

5. 病診連携医室

副院長室に隣接し病診連携室を設置する
病診連携医室には以下の設備・備品を置く

壁付きシャーカステン

机および筆記用具

登録医記帳用ノート

ロッカー 2人分

白衣 M.L サイズ各2着を常に清潔に保管する

電話 1台；市内通話可能（0発信）

院内電話番号表

院内案内図

傘立て

6. 病診連携系の業務

1) 登録医訪問予約

- ①登録医の希望を受け、主治医と連絡をとり訪問日時を決定し、または変更について調整する。
- ②登録医訪問予約を主治医、病棟師長まで連絡する。

2) 紹介患者様の情報記録

- ①登録医から各科外来への紹介患者様について、(1)紹介状 (2)病状報告書 (3)検査日時通知書 (4)入院通知票、を受取り、データベースに情報を入力したあと、(1)は保管し、(2), (3), (4)の書類を登録医に発送する。
- ②登録医から FAX による患者様紹介があった場合、FAX 文はまず医事課病診連携係に届けられるので、情報の入力後各科外来に速やかに届ける。各科外来の診察の結果、①と同様な手続きとなるが、紹介状の代わりに FAX 文を保管する。
- ③放射線科特殊検査実績の把握と記録
造影をしない CT および MRI 検査は、電話で直接 CT 室、MRI 室に申し込むことができるため、この実績を病診連携係で把握する必要がある。放射線科より、予約成立の時点で放射線科医師によって記入された検査日時通知書を受取り、上記①と同様に情報を記録したあと登録医に発送する。
- ④登録医からの時間外の紹介患者については、準夜勤師長は深夜勤師長に紹介状(FAX)、病状報告書、入院通知票などを手渡し、深夜勤師長は翌朝全ての書類を医事課病診連携係に届けるので、これらを受取り①の手順をとる。
- ⑤共同診療開始が決定した場合は、連絡票に基づきデータベースに登録する。共同診療終了の場合も同様の手順により取り扱う。

3) 紹介医への情報伝達

①紹介患者様の退院

病棟からの紹介患者様の退院の報告を受けた場合は、データベースの情報を直ちに更新し、退院通知票を紹介医に送付する。

- ②紹介患者様の症例検討の実施について担当医からの通知があった場合は、電話または FAX で紹介医に連絡する。

4) 病診連携室の状態を 2 週に 1 回把握し、部屋の状況や備品の確認をし必要な対処をする。

5) 毎月、システムの利用状況について、病診連携委員会に報告する。

7. 各科担当医の業務

1) 外来診療

登録医からの紹介状を患者様が持参した場合、外来カルテに、「登録医」の印と登録医の名前が記入されていることを確認する。

紹介目的に応じて、病状報告書、検査日時通知書、入院通知票に必要事項を記入して、必要であればコピーを作製して、各科はコピーを保管し、紹介状を含めたオリジナル文書を、速やかに病診連携係に届ける。

FAXによる紹介の場合は、FAX文を紹介状の代わりとし、同様の手順をとる。

共同診療開始（終了）が決定した場合は、速やかに共同診療患者様連絡票を起票し、会計時に必要な事務処理が行える様にする。外来カルテには、共同診療患者様であることを明示する。

2) 入院診療

①登録医からの紹介患者様の入院カルテ背表紙には、紹介医の名前が黒字で記入された黄色円形のラベルが貼られていることを確認する。

②紹介患者様の症例検討会が行われる場合は、前もって病診連携係に日時を連絡すること。病診連携係より紹介医に通知します。

③紹介患者様が退院するとき原則として、診療情報提供書または退院の報告書を記載する。

④死亡退院の場合は、担当医より紹介医に速やかに直接報告する。

⑤紹介患者様の手術予定に関しては、担当医が登録医に連絡する。

⑥病診連携係より登録医の希望により登録医との面談の可否について電話で確認をとるが、面談不可能な場合は、必ず「登録医連絡票」に必要事項を記載して入院カルテ1ページ目に挟んでおく。

⑦退院時共同診療が確定している場合は、共同診療患者様連絡票を起票し、共同診療患者様の登録および共同診療券の発行ができるようにする。死亡その他の理由で共同診療が終了となる場合も、連絡票を起票する。

8. 各科外来看護師業務

1) 登録医からの紹介患者様については、各科外来で紹介状または FAX 文を確認し、外来カルテに「登録医」の朱印を押して紹介医の名前を記入されることを確認する。紹介目的に応じて、病状報告書、検査日時通知書、入院通知票に必要事項の記入を確認して、必要であればコピーを作製して、各科はコピーを保管し、紹介状を含めたオリジナル文書を、速やかに病診連携係に届ける。 FAX による紹介の場合は、FAX 文を紹介状の代わりとし、同様の手順をとる。

2) 登録医からの紹介患者様が入院となった場合、入院病棟クランクに登録医からの紹

介患者様であることを確実に伝える。

- 3) 共同診療の開始（終了）に当たっては、共同診療患者様連絡票の確実な起票を確認し、外来基本票とともに患者様に手渡し、会計時に登録手続きがとれるようにする。診療録には「共同診療」のゴム印を押印する。

9. 病棟師長の業務

1) 紹介患者様の入院

外来より登録医の紹介患者様が入院となった場合、外来カルテに「登録医」の朱印と紹介医名が記載されていることを確認する。また登録医からの紹介患者の標識である、紹介医名を黒字で記入した黄色円形のラベルが入院カルテの背表紙に貼られていることを確認する。

2) 紹介患者様の退院

紹介患者様が退院するときは、診療情報提供書または退院報告書が記載されていることを確認する。共同診療開始が確定している場合は、共同診療患者様連絡票が起票されていることを確認し、共同診療患者様の登録および共同診療券の発行を確認する。死亡その他の理由で共同診療が終了となる場合の、共同診療患者様連絡票の起票を確認する。

- 3) 紹介患者様について紹介医が病室を訪問するときは、原則として病診連携係を通して担当医と約束しております。病診連携係より担当医と病棟に病診連携係がそれぞれの連絡票を手渡します。

担当医またはその代理が直接面談できない場合には「登録医連絡票」に担当医が連絡事項を記載し、入院カルテ1ページ目に挟んであることを紹介医の来院前に確認する。

10. 新患受付の業務

共同診療の開始にあたり、診療科（病棟）より共同診療患者様連絡票が下りてきたら、共同診療券を発行するとともに「共同診療の開始にあたって」を患者様にお渡しする。共同診療券発行後は、連絡票を病診連携係へ渡す。

11. 病棟クランク業務

- 1) 外来より登録医からの紹介患者様が入院となった場合、外来カルテに「登録医」の朱印と紹介医名が記載されていることを確認する。入院カルテを作製するとき、登録医からの紹介患者であることを示す黄色円形のラベルに紹介医名を黒字で記入し入院カルテ背表紙に貼る。また、看護支援システム（NICE）画面に、登録医よりの紹介患者様である旨を黄色の○印を使って表示する。

退院時共同診療が確定している場合は、共同診療患者様連絡票を新患受付に下ろし共同診療券の発行をうけ、「共同診療の開始にあたって」とともに患者様へお渡しする。共同診療終了の場合は、共同診療患者様連絡票を病診連携係に下ろす。

2) 紹介患者様の転科・転棟・退院

紹介患者様が転科・転棟・退院する時は、その事実を「転科・転棟・退院連絡票」

で病診連携係に報告する。

退院時は、必ず診療情報提供書の発行の有無を記入すること。

1 2. 西 1 診療医の業務

登録医からの紹介に関しては、当番医及び研修医のみにとどめず、必ず上級医師或いは専門科医師の判断を受けること。

上級医師または専門医師は電話で診察結果を登録医に報告すること。

1 3. 夜勤師長の業務

1) 準夜勤師長は、勤務時間内に登録医からの紹介患者様があった場合は、紹介状または FAX 文 および病状報告書・入院通知書を深夜勤師長に手渡す。

2) 深夜勤師長は、勤務時間内に登録医からの紹介患者様があった場合は、その患者様に関する紹介状または FAX 文および病状報告書・入院通知書と、準夜勤師長から手渡された書類をまとめて翌朝病診連携係に手渡す。

3) 登録医からの紹介患者様が入院となった場合、入院病棟看護師に登録医からの紹介患者様であることを確実に伝える。

1 4. 西 1 事務業務

1) 時間内に登録医からの患者様紹介 FAX を受診した場合は、直ちに病診連携係に届ける。

2) 時間外に登録医からの患者様紹介 FAX を受診した場合は、直ちに時間外当直医に届ける。

3) 登録医からの紹介状を持参した患者様が来院した場合は、救命カルテに必要事項を記載後、紹介状をコピーし、救命カルテに添付する。

1 5. ガードマンの業務

1) 登録医が病院を訪問したとき、登録バッジの提示をお願いする。バッジを携帯しなかった場合は免許証等身分証明書を提示していただき、登録医名簿で確認の上共通バッジを提供する。

2) 時間内の場合は、病診連携係に登録医医師名を電話連絡する。

3) 駐車場に案内する。(あけぼの会第一駐車場)

4) 時間外の場合は、病診連携室まで案内する。

5) 病診連携室には施錠しない。副院長室は土・日・祭日を除き午後 8 時以降で副院長が室内にいない時は、ガードマンが施錠する。土・日・祭日の場合、ガードマンが施錠を確認する。

静岡済生会総合病院病診連携システム協定書

平成13年4月1日改訂版

静岡済生会総合病院病診連携システム協定書

1. 名称と趣旨

名称を静岡済生会総合病院病診連携システムとし、静岡市静岡医師会と静岡済生会総合病院が相互に、あるいは共同して患者の診療に当たり、お互いに医師としての立場を尊重し合い運営するものとする。

2. 病診連携医登録

病診連携に関する相互間の連絡、相互間（病院職員を含む）の確認、患者情報の守秘義務遂行などを目的とし、医師会を通じて、静岡済生会総合病院病診連携医（以下登録医と略）として登録する。

登録方法：

登録医の申し込みは、規定用紙に記入事項を記載し、運転免許証用サイズの白黒またはカラー写真1枚（裏面に氏名を記載）を添えて静岡市静岡医師会に提出する。

登録証：

登録証に当たるものとして、登録医バッジを病院が作製し、医師会を通じて交付する。本バッジは登録医が保管し、病院来訪時に持参するものとする。

3. 登録医の病院利用

1) 患者紹介

患者を病院に紹介する場合は、登録医用の紹介状に必要事項を記入のうえ、次の方法で紹介する。

①紹介状患者持参

②FAXによる紹介（FAX番号 054-280-5050）

③緊急の場合の電話紹介（TEL番号 054-285-6171）

電話で紹介の場合も、病診連携システムの登録患者とする場合は、事後（後日）登録医用紹介状を発行する。

診療時間内（月～金 8:30～17:00）は希望診療科の医師に、時間外・土曜日・休日は救命センター当直医に紹介する。

当院における電話の取り次ぎは次のとおり。

月～金	： 8:00～20:00	電話交換手
	上記以外の時間帯	救命センター受付事務またはガードマン
土曜日・休日	： 8:30～17:00	電話交換手
	上記以外の時間帯	救命センター受付事務またはガードマン

2) 外来生体検査の依頼

- ①検査のみの場合も、病院外来カルテを作製する。予約検査の場合は、電話で直接各診療科（代表番号より申し込み）に依頼し、各診療科は日時を登録医に連絡する。検査当日患者が来院し外来カルテを作製し、当該検査終了後、診療料を患者に請求する。
- ②動脈硬化検査（ABI）に関しては、直接動脈硬化検査センターに連絡し予約を取る。当日はカルテを作成せず、直接検査センターで検査を実施する。
- ③造影剤など注射手技のないCT・MRI検査は、電話で直接MRI室（内線 2600）に依頼する。

検査当日の患者の受診手順は、

- (1) 必ず検査の30分前に来院する。
- (2) 放射線科初診の手続きをする。
- (3) 検査室に行き、紹介状を提出する。
- (4) 検査物の受け渡しは、原則として翌々日以降。受け渡し場所は北館地下MRI受付とする。

いずれの場合も、紹介患者が保険証不携帯の場合には、初診受付においてその旨を申し出ることとする。

3) 病院担当医との面談

紹介患者の病状について担当医と面談を希望される場合には、訪問予約をしていただきたい。

登録医の訪問予約は、下記の時間帯に、地域医療相談科 病診担当 (TEL : 054-280-5040 直通) を窓口とする。

月～金：8:30～17:15

予約外の訪問時は、担当医が対応できない場合があります。

4) 登録医の病院訪問

登録医が病院訪問をされる場合には、

- ①原則として、来院時登録医バッジを付けること。バッジ不携帯の場合は、病診連携登録医共通のバッジをガードマン室に用意するので、運転免許証などを提示して利用する。
- ②自家用車で来院の場合、病院東側「あけぼの会第一駐車場」に駐車する。この際、病診連携医の登録バッジを提示すること。
通常はキーをお預かりするので、出車が午後8時以降になる場合は、あらかじめその旨を申し出て、キーを受け取っておく。
- ③病院内病診連携医室において、訪問の記帳をする。

病診連携医室は、北館1階の看護部長室に隣接しております。連携医室にはロッカ

ー2人分と白衣M・Lサイズ各2着を用意する。白衣は必要に応じ着用する。なお、貴重品の保管は登録医各自の責任とする。

- ④紹介患者入院中の病室への訪問は自由とする。
- ⑤不案内の場合には病診連携医室の電話で、時間内は病診担当(内線 2427)、時間外は救命センター受付事務員(内線 2511or2512)に連絡する。
- ⑥予約されていれば、訪問時担当医師または、診療科科長が対応する。
- ⑦直接対応不可能の場合には、入院診療録に挿入した連絡用紙に患者の状況を記載しておく。登録医も担当医師への連絡を、連絡用紙に記入する。

5) 紹介患者の診療への参加

- ①病棟において、登録医の紹介患者の診療録・資料(検査結果・X線写真など)の自由閲覧が可能(病棟看護師に依頼する)。
- ②紹介患者についての症例検討会・手術などの日時を、当院担当医より連絡する。意見交換または見学が可能。
- ③紹介患者の退院後の治療は、可能な限り登録医に依頼する。

6) 共同診療

- ①疾患により、診療所、病院双方の特性を生かすことが、患者にとって適切と考えられる場合は、インフォームド・コンセントによる十分な説明と理解に基づき、共同して診療にあたる。
- ②共同診療にあたっては、紹介状に共同診療を希望する旨を記載し、静岡済生会総合病院が発行する共同診療券を使用する。
- ③共同診療には全ての登録医が参加出来ませんが、対象となる患者の疾患、担当診療科等は、別に定める運用規則によるものとする。

4. 本システムは静岡済生会総合病院と静岡市静岡医師会との間で、年2回の協議会を開催し、相互の立場を尊重しつつ、運営上の問題点を検討し、適宜相互の了解の下に改善する。

5. 本システムは相互の了解の下に、平成6年4月1日より発効実施するものとする。

改訂 平成13年 4月 1日

No	医療機関名	住所
1	青木内科医院	静岡市清水区興津清見寺町143-17
2	青山医院	静岡市葵区北一丁目10-18
3	浅井内科医院	静岡市清水区中矢部町3-15
4	飯室クリニック	静岡市駿河区馬淵4丁目16-12
5	飯山内科クリニック	静岡市駿河区小黒2丁目9-13
6	ときわ公園クリニック	静岡市葵区常盤町3丁目6-14
7	石井内科医院	静岡市駿河区馬淵2丁目10-20
8	杉山医院	静岡市駿河区泉町4-5
9	城西神経内科クリニック	静岡市葵区新富町5-7-6
10	板井クリニック	静岡市駿河区曲金7丁目7-19
11	岩はし内科医院	静岡市駿河区丸子2丁目2-8-5
12	うえだ小児科	静岡市駿河区登呂6丁目13-36
13	おさだ耳鼻咽喉科	静岡市駿河区丸子新田536
14	皮膚科・アレルギー科 宇野医院	静岡市駿河区馬淵1丁目11-15
15	えのもと循環器科・内科	静岡市葵区安西1丁目75
16	たんぼぼ診療所	静岡市駿河区中吉田26-16
17	大石内科循環器科医院	静岡市葵区鷹匠2-6-1
18	マイクリニック大久保	静岡市葵区川合2丁目1-20
19	大島医院	静岡市駿河区用宗1丁目33-3
20	大はざま小児クリニック	静岡市葵区東千代田2-26-63
21	大町耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区八幡5丁目7-34
22	岡外科胃腸科医院	静岡市葵区本通西町39
23	おかもとレディースクリニック	静岡市駿河区曲金4丁目7-3
24	岡本外科クリニック	静岡市駿河区曲金4丁目7-3
25	おくむらメンタルクリニック	静岡市駿河区森下町1-30 サンコウビル2階
26	小澤内科胃腸科	静岡市葵区瀬名川1丁目29-32
27	用宗落合診療所	静岡市駿河区用宗4丁目2-2
28	城北耳鼻咽喉科	静岡市葵区城北29-1
29	小原医院	静岡市清水区有度本町2-15
30	かげやま医院	静岡市葵区相生町9-5
31	片山耳鼻咽喉科医院	静岡市清水区宮加三551-5
32	勝又整形・形成外科医院	静岡市葵区瀬名川1丁目27-40
33	勝又医院	静岡市葵区大岩1丁目5-40
34	勝又小児科・アレルギー科医院	静岡市葵区紺屋町12-5
35	大川診療所	静岡市葵区坂ノ上615
36	かもと整形外科医院	静岡市駿河区登呂4丁目2-21
37	川崎耳鼻咽喉科クリニック	静岡市葵区七間町13-1 セブントウンビル2階
38	川野辺小児科	静岡市葵区北安東3丁目21-17
39	かわはら医院 小児科・アレルギー科	静岡市駿河区登呂2丁目9-32
40	きくち内科医院	静岡市駿河区新川2丁目8-3
41	北村医院内科	静岡市葵区一番町9
42	みどり内科クリニック	静岡市葵区田町2丁目141-18
43	高良整形外科医院	静岡市葵区瀬名中央4丁目5-53
44	こじまクリニック内科・循環器科	静岡市葵区沓谷5丁目12-7
45	小長井整形外科医院	静岡市駿河区新川2丁目5-31
46	ゆずの木町内科・循環器科	静岡市葵区柚木町2
47	望月小児科医院	静岡市葵区追手町1-27
48	近藤医院	静岡市駿河区手越310
49	三枝クリニック・肛門科	静岡市葵区栄町1-1
50	聖一色齋藤医院	静岡市駿河区聖一色414-8
51	桜井クリニック	静岡市駿河区中田本町6-11
52	佐々木ハートクリニック	静岡市葵区南瀬名町26-39
53	さそう内科呼吸器科クリニック	静岡市葵区大鋸町2-5
54	おおや整形外科クリニック	静岡市駿河区片山8-15
55	佐藤内科医院	静岡市駿河区南町12-19
56	キッズクリニックさの	静岡市駿河区敷地1丁目18-19
57	佐野内科医院	静岡市清水区八木間町1871
58	塩川八幡ヒルズクリニック	静岡市駿河区八幡5丁目32-10
59	司馬医院	静岡市葵区栄町2-7
60	柴山クリニック	静岡市駿河区登呂5丁目11-9
61	白鳥消化器内科医院	静岡市駿河区豊田1丁目7-22

No	医療機関名	住所
62	白鳥内科クリニック	静岡市葵区神明町103-2
63	白鳥内科医院	静岡市葵区片羽町58
64	杉浦内科	静岡市駿河区みずほ4丁目10-10
65	登呂杉山医院	静岡市駿河区登呂5丁目4-1
66	杉山医院	静岡市葵区瀬名川2丁目23-21
67	城北すぎやま整形外科	静岡市葵区大岩本町23-7
68	内科杉山医院	静岡市葵区水道町10-5
69	菅野医院分院	静岡市葵区瀬名1丁目7-3
70	いずみ眼科	静岡市駿河区小鹿2-1-11
71	鈴木内科医院	静岡市葵区安倍口新田526-3
72	やはた内科・循環器内科	静岡市駿河区八幡4-7-21
73	高野外科胃腸科医院	静岡市駿河区中田1丁目7-11
74	高野橋医院 脳神経外科 心臓血管外科	静岡市駿河区北丸子2丁目5-10
75	たの眼科クリニック	静岡市駿河区敷地1丁目24番12号
76	静岡広野病院	静岡市駿河区広野1494-8
77	田村外科医院	静岡市駿河区八幡3丁目21-26
78	草薙土屋外科医院	静岡市清水区草薙1丁目25-35
79	戸田クリニック	静岡市駿河区中田2丁目3-17
80	富松レディースクリニック	静岡市葵区東千代田1丁目1-3
81	トモノ医院	静岡市葵区東鷹匠町24
82	ともの整形外科クリニック	静岡市葵区上土1丁目1-71
83	中川内科小児科医院	静岡市清水区石川新町8-31
84	長島耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区池田275-1
85	ちょう内科医院	静岡市駿河区小鹿430-3
86	中村眼科医院	静岡市清水区天神1-11-24
87	南波耳鼻咽喉科医院	静岡市葵区瀬名中央3丁目28-17
88	野口耳鼻咽喉科医院	静岡市駿河区曲金4-3-7
89	小児科ののだ医院	静岡市駿河区下川原5丁目19-15
90	袴田外科医院	静岡市葵区籠上13-20
91	萩原医院	静岡市駿河区西脇29-1
92	大谷はざまクリニック	静岡市駿河区宮川39-20
93	服部クリニック	静岡市葵区羽鳥5丁目7-30
94	こぐまこどもクリニック	静岡市駿河区国吉田5丁目13-1
95	原小児科医院	静岡市清水区神田町5-5
96	原田医院	静岡市駿河区中村町73-12
97	東クリニック	静岡市清水区辻1丁目3-18
98	平野医院	静岡市葵区昭和町5-5
99	広川医院	静岡市清水区高橋3-4-40
100	ふかさわレディースクリニック	静岡市駿河区敷地1丁目18-10
101	内科・消化器科福田医院	静岡市駿河区西脇746-1
102	福地外科循環器科医院	静岡市清水区七ツ新屋2-4-15
103	福間産婦人科クリニック	静岡市駿河区中原739-1
104	堀田内科医院	静岡市駿河区宮竹1丁目4-7
105	静岡共立クリニック	静岡市駿河区曲金4-1-25
106	堀向医院	静岡市駿河区曲金5丁目4-63
107	本田眼科医院	静岡市葵区紺屋町8-6
108	耳鼻咽喉科 まこし医院	静岡市清水区巴町14-12
109	静岡曲金クリニック	静岡市駿河区曲金3丁目5-5
110	増田こどもクリニック	静岡市駿河区豊田1丁目8-30
111	松生整形外科医院	静岡市駿河区西島528
112	松浦整形外科	静岡市清水区平川地7-30
113	春日耳鼻咽喉科クリニック	静岡市清水区春日1-6-18
114	新通り整形外科	静岡市葵区新通1-12-5
115	まつもとこどもクリニック	静岡市駿河区上川原713-1
116	美和クリニック	静岡市葵区足久保口組127-7
117	三神医院	静岡市駿河区西大谷4-4
118	溝口クリニック	静岡市葵区古庄2丁目15-26
119	みたけ内科循環器科クリニック	静岡市葵区東鷹匠町4-10
120	宮下医院	静岡市葵区羽鳥1丁目7-13
121	宮田医院	静岡市駿河区国吉田4丁目24-17
122	磯貝医院	静岡市清水区草薙1丁目15-23

No	医療機関名	住所
123	望月クリニック	静岡市清水区大沢町2-14
124	望整形外科	静岡市駿河区豊田1丁目1-20
125	望月内科消化器内科クリニック	静岡市葵区新伝馬1丁目11-23
126	もちづき整形外科	静岡市葵区沓谷4丁目1-39
127	森田クリニック	静岡市葵区上足洗4丁目1-7
128	森本内科循環器科	静岡市葵区新通1丁目11-5
129	森谷内科医院	静岡市葵区山崎1丁目26-9
130	矢島耳鼻咽喉科気管食道科医院	静岡市駿河区泉町2-3 アスマビル2階
131	山崎医院	静岡市駿河区新川1丁目19-5
132	山田医院	静岡市駿河区聖一色473-1
133	井川診療所	静岡市葵区井川1133-2
134	山本内科医院	静岡市葵区川合3丁目13-11
135	吉川医院	静岡市葵区竜南1丁目14-31
136	芳村整形外科医院	静岡市葵区長沼984
137	わたなべクリニック	静岡市駿河区南町6-16 パレ・ルネッサンス104
138	渡辺内科医院	静岡市清水区上清水町11-18
139	渡辺内科医院	静岡市駿河区池田649-1
140	渡辺外科医院	静岡市清水区草薙一里山3-33
1	長井歯科口腔外科	静岡市葵区瀬名中央4丁目5-65

別紙4 救急医療の提供の実績
(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

※資料④ 救急医療を提供する能力を有することを証する書類を別添致します。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	29床
専用病床	17床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター 東館1階	1594.96㎡	(主な設備) 救命蘇生装置、除細動器、心電計	可
ICU 東館6階	1597.38㎡	(主な設備) 心電図モニター、人工呼吸器、バイパップ、PCPS、IABP、CHDF、他	可
MRI棟	235.7㎡	(主な設備) MRI	可
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	

4 備考

救命救急センター等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救命救急センターの認定、又救命救急センターの整備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき、病院群輪番制病院、救命救急センターを運営している病院である。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救命救急センター等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救命救急センターの認定を受けている病院、救命救急センターの整備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救命救急センターを実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救命医療の提供の実績

救命用又は患者輸送自動車により搬入した救命患者の数	4,993人 (2,266人)
上記以外の救命患者の数	12,831人 (2,067人)
合計	17,824人 (4,333人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

※資料⑤ 救命救急センター受診患者数 を別添致します。

6 救命用又は患者輸送用自動車

救命用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

平成28年度】	
地域ケア従事者研修会	
・開催延べ件数	2回
・研修参加者延べ数	112人
内 当病院参加者数	14人(医師以外14人)
内 院外参加者数	98人(医師以外98人)
新生児蘇生法「専門コース」講習会	
・開催延べ件数	17回
・研修参加者延べ数	101人
内 当病院参加者数	31人(医師12人、医師以外19人)
内 院外参加者数	70人(医師6人、医師以外64人)
BLSコース研修会	
・開催延べ件数	11回
・研修参加者延べ数	146人
内 当病院参加者数	71人(医師13人、医師以外58人)
内 院外参加者数	75人(医師25人、医師以外50人)
診療科・部門発表会	
・開催延べ件数	3回
・研修参加者延べ数	159人
内 当病院参加者数	155人(医師42人、医師以外113人)
内 院外参加者数	4人(医師4人)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	33回
(2) (1) の合計研修者数	518人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

※資料⑥ 28年度度研修実施報告書を別添致します。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有・無
- イ 研修委員会設置の有無 有・無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

※資料⑦ 28年度研修体制を別添致します。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講堂	221.40㎡	(主な設備) プロジェクター・机・椅子・マイク
研究室	40.09㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机付き椅子
第1会議室	42.94㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン
第2会議室	52.64㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン 机・椅子
第3会議室	44.91㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机・椅子
第5会議室	30.64㎡	(主な設備) 机・椅子
第6会議室	24.99㎡	(主な設備) 机・椅子
カンファレンスルーム	44.91㎡	(主な設備) 机・椅子

【研修実施報告】

地域ケア従事者研修会

9/1 テーマ ～癌終末期の介護を考える～

2/9 テーマ ～皮膚疾患と対策～

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)				
		職種	内部(医師)	内部(医師以外)	外部(医師)	外部(医師以外)
平成28年9月1日	静岡済生会総合病院 (講堂)	看護師 介護士等	0	8	0	63
平成29年2月9日			0	6	0	35
		合計	0	14	0	98

新生児蘇生法「専門」コース講習会

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)				
		職種	内部(医師)	内部(医師以外)	外部(医師)	外部(医師以外)
平成28年5月6日	静岡済生会総合院	医師・看護師 助産師・学生	3	0	0	0
平成28年5月16日			1	2	0	4
平成28年5月20日	ふくろいマタニティクリニック		0	0	0	6
平成28年6月11日	和助産院		0	0	0	5
平成28年6月17日	静岡済生会総合病院		1	3	0	3
平成28年6月29日	ふくろいマタニティクリニック		0	0	0	6
平成28年7月3日	津島市民病院		0	0	1	6
平成28年7月15日	静岡済生会総合病院		2	3	0	2
平成28年8月19日			1	2	0	4
平成28年8月29日	焼津市立総合病院		0	0	1	7
平成28年9月5日	静岡済生会総合病院		1	4	0	
平成28年9月16日	くさなぎマタニティクリニック		0	0	2	3
平成28年10月21日	静岡済生会総合病院		1	0	1	2
平成28年10月31日	静岡厚生病院		0	0	1	7
平成28年11月18日	静岡済生会総合病院		1	4	0	1
平成28年12月28日			1	1	0	4
平成29年1月25日		0	0	0	4	
		合計	12	19	6	64

BLSコース「一次救命処置」

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)				
		職種	内部(医師)	内部(医師以外)	外部(医師)	外部(医師以外)
平成28年4月16日	静岡済生会総合病院	医師 医師以外	12			
平成28年6月25日				6	2	5
平成28年7月16日	中東遠総合医療センター				10	7
平成28年8月21日	静岡済生会総合病院			8	1	4
平成28年10月1日			1	9	1	2
平成28年11月3日	関東労災病院				4	20
平成28年11月13日	静岡済生会総合病院			11	2	5
平成28年12月10日				4		2
平成29年1月21日				8	1	2
平成29年2月18日				10	3	3
平成29年3月12日				2	1	
			合計	13	58	25

診療科・部門発表会

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)				
		職種	内部(医師)	内部(医師以外)	外部(医師)	外部(医師以外)
平成28年7月27日	静岡済生会総合病院 (講堂)	医師 医師以外	14	35	1	0
平成28年8月31日			13	38	3	0
平成28年9月28日			15	40	0	0
		合計	42	113	4	0

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ・無

イ 研修委員会設置の有無 ・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
*****	医師	脳神経外科	院長、部長	36	管理委員
*****	医師	腎臓内科	部長	22	教育責任者・管理委員
*****	医師	整形外科	医長	10	管理委員
*****	医師	循環器内科	部長	25	管理委員
*****	医師	不整脈科	科長	14	管理委員
*****	医師	内分泌代謝科	部長	26	管理委員
*****	医師	緩和医療科	部長	20	管理委員
*****	医師	消化器内科	部長	24	管理委員
*****	医師	神経内科	部長	32	管理委員
*****	医師	神経内科	部長	31	管理委員
*****	医師	呼吸器内科	科長	13	管理委員
*****	医師	血液内科	部長	21	管理委員
*****	医師	皮膚科	部長	20	管理委員
*****	医師	放射線科	部長	29	管理委員
*****	医師	総合診療科	部長	37	管理委員
*****	医師	外科	部長	36	管理委員
*****	医師	外科	部長	28	管理委員
*****	医師	胸部・心臓血管外科	部長	32	管理委員
*****	医師	整形外科	部長	19	管理委員
*****	医師	手外科マイクロージャリー科	部長	20	管理委員
*****	医師	耳鼻咽喉科	部長	29	管理委員
*****	医師	眼科	科長	13	管理委員

*****	医師	形成外科	科長	7	管理委員
*****	医師	泌尿器科	科長	13	管理委員
*****	医師	小児科	部長	28	管理委員
*****	医師	産婦人科	科長	16	管理委員
*****	医師	麻酔科	部長	25	管理委員
*****	医師	救命救急科	セクター長	14	管理委員
*****	医師	精神科	部長	28	管理委員
*****	医師	病理診断科	医師	64	管理委員
*****	医師	循環器内科	医長	13	
*****	医師	循環器内科	医長	12	
*****	医師	循環器内科	医長	10	
*****	医師	腎臓内科	医長	12	
*****	医師	腎臓内科	医長	10	
*****	医師	腎臓内科	医長	9	
*****	医師	腎臓内科	医師	7	
*****	医師	消化器内科	医長	16	
*****	医師	神経内科	医長	19	
*****	医師	呼吸器内科	医長	12	
*****	医師	呼吸器内科	医長	11	
*****	医師	皮膚科	医長	15	
*****	医師	外科	部長	22	
*****	医師	外科	医長	13	
*****	医師	外科	医長	13	
*****	医師	外科	医長	7	
*****	医師	脳神経外科	部長	23	

*****	医師	脳神経外科	副部長	19	
*****	医師	脳神経外科	医長	18	管理委員
*****	医師	胸部・心臓血管外科	副部長	25	
*****	医師	整形外科	医長	12	
*****	医師	整形外科	医師	8	
*****	医師	整形外科	医師	8	
*****	医師	整形外科	医師	7	
*****	医師	耳鼻咽喉科	医長	13	
*****	医師	耳鼻咽喉科	医長	12	
*****	医師	耳鼻咽喉科	医長	12	
*****	医師	眼科	医師	8	
*****	医師	女性泌尿器科	科長	22	
*****	医師	泌尿器科	医師	9	
*****	医師	小児科	医長	13	
*****	医師	小児科	医長	12	
*****	医師	小児科	医長	9	
*****	医師	小児科	医師	7	
*****	医師	新生児科	科長	9	
*****	医師	産婦人科	医師	8	
*****	医師	産婦人科	医師	43	
*****	医師	健康管理科	医長	14	
*****	放射線技師	超音波科	科長		管理委員
*****	作業療法士	リハビリテーション科	主任		管理委員
*****	放射線技師	放射線技術科	主任		管理委員
*****	臨床検査技師	臨床検査科	主任		管理委員

*****	薬剤師	薬剤科	主幹		管理委員
*****	看護師	看護管理室	看護部長		管理委員
*****	看護師	看護管理室	副看護部長		管理委員
*****	看護師	南3病棟	師長		
*****	看護師	南4病棟	師長		
*****	看護師	南5病棟	師長		
*****	看護師	南6病棟	師長		
*****	看護師	南7病棟	師長		
*****	看護師	南8病棟	師長		
*****	看護師	南9病棟	師長		
*****	看護師	南10病棟	師長		
*****	看護師	北3病棟	師長		
*****	看護師	北4病棟	師長		
*****	看護師	N I C U	主任		
*****	看護師	救命救急センター	師長		
*****	看護師	救命救急センター	師長		
*****	看護師	手術センター	師長		
*****	看護師	透析室	師長		
*****	看護師	外来看護師長室	師長		
*****	看護師	外来検査室	師長		
*****	看護師	医療安全室	師長		
*****	看護師	院内感染対策室	師長		
*****	事務	事務部長室	事務部長		管理委員
*****	事務	総務管理課 人事室	室長		管理委員
*****	事務	教育センター	室長		管理委員

*****	事務	医療秘書課	主幹		管理委員
*****	事務	臨床研修センター	事務室長		管理委員
*****	事務	臨床研修センター	主任		管理委員

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 * * * * *
管理担当者氏名	事務部長 * * * * * 地域医療センター * * * * *

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報室・カルテ室	電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域連携室	
	閲覧実績	地域連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長 * * * * *
閲覧担当者氏名	事務部長 * * * * * 地域医療センター * * * * *
閲覧の求めに応じる場所	地域医療センター
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>申込者による申請(電話・来所・文書など)、臨機応変に地域連携室が対応 ↓ 閲覧責任者による決裁(事案により、地域医療委員会で審議、検討を行う場合がある) ↓ 申請者に可否の連絡(閲覧担当者より) ↓ 地域連携室にて閲覧の実施</p>	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

別紙 8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>平成28年度 第1回 静岡済生会総合病院地域医療支援病院運営委員会</p> <p>日時 平成28年9月14日</p> <p>場所 院内第3会議室</p> <p>出席者 院外委員4名 院内7名</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の実績報告 <ol style="list-style-type: none"> ①紹介、逆紹介率 ②救急医療の提供 ③研修 ④ふじのくにねっと ⑤イーザーネット 2. 今年度の取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①整形外科の骨粗鬆症連携について ②循環器内科の冠動脈CT連携について ③病診連携パンフレットについて ④広報誌「医力」について 3. 意見交換 <p>平成28年度 静岡済生会総合病院 病診連携システム運営協議会（静岡市静岡医師会）</p> <p>日時 平成28年10月12日</p> <p>場所 院内講堂</p> <p>出席者 院外6名 院内12名</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の実績報告 2. 今年度の取り組み 3. 意見交換 <p>平成28年度 静岡済生会総合病院 病診連携システム運営協議会（静岡市清水医師会）</p> <p>日時 平成28年11月2日</p> <p>場所 清水保健福祉センター4階 研修室</p> <p>出席者 院外11名 院内9名</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の実績報告 2. 今年度の取り組み 3. 在宅医療介護相談室の紹介 4. 意見交換 	

平成28年度 第2回 静岡済生会総合病院地域医療支援病院運営委員会

日時 平成29年1月18日

場所 院内第3会議室

出席者 院外委員6名 院内8名

- 議題
1. 今年度の実績報告
 2. 今年度の取り組み
 - ①関係機関との連携について
 - ②退院後訪問について
 3. 意見交換

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

※資料⑧ 地域医療支援病院運営委員会 議事録、委員名簿 を別添致します。

平成28年度 地域医療支援病院運営委員会 委員名簿

氏名	団体名等
*****	静岡市保健所 所長
*****	静岡市静岡医師会 副会長
*****	静岡市清水医師会 副会長
*****	静岡市静岡歯科医師会 副会長
*****	静岡市薬剤師会 副会長
*****	静岡県立大学看護学部 教授
*****	静岡済生会総合病院 病院長
*****	同上 副院長
*****	同上 副院長
*****	同上 副院長
*****	同上 地域医療委員会 委員長
*****	同上 歯科口腔外科 部長
*****	同上 看護部長
*****	同上 事務部長

敬称略

別紙9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・ <u>相談室</u> ・その他（ ）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー 4名 看護師 5名
患者相談件数	10330件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度説明 266件 ・ 転院支援 1037件 ・ 在宅療養支援 486件 ・ 医療費 787件 ・ 受診相談 117件 ・ その他 207件 <p style="margin-left: 2em;">* 合計2900件 (延件数 10330件)</p> <p>・ 相談内容の36%を転院支援が占め件数が増加 (昨年比100件の増加) しているため、退院支援の専従看護師を1名増員した。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 平成28年2月	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域の医療機関向け情報紙 「医力」年4回 患者向け情報紙「HOME」年6回 ホームページ	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 担当部署；地域医療センター 医療相談室 職員数：看護師5名、医療ソーシャルワーカー4名	

※資料⑨ 地域支援加算・介護支援連携指導料実勢報告書を別添致します。

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨地域連携パス：入院件数255人 パス適応150人 脳卒中地域連携パス：入院件数305人 パス適応88人 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組みに医師と地域連携職員が参加 イーツーネット大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパス会議 3回/年	

